



水の恵みを 未来へつなぐ

長野県企業局



長野県企業局は、長野県が経営する「地方公営企業」です。

1961(昭和36)年に発足して以来、「地域の発展」と「公共の福祉の増進」のため、

電気・水道をはじめ、有料道路やガスなど様々な事業を実施してきました。

企業局では、現在、長野県の豊富な水資源をもとに**電気事業**と**水道事業**を経営しています。

これにより、再生可能エネルギーの供給拡大による2050ゼロカーボンの実現と

安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立を目指しています。

県民の皆様の豊かな暮らしを実現するため、これからも企業局は、

長野県の豊かな水の恵みを未来へとつなげていきます。

長野県企業局



「地方公営企業」とは…

地方公共団体が行う、地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービス(水の供給や下水の処理など)を提供するために経営する企業活動のこと。税金を財源としている一般の行政機関とは異なり、事業で得られた料金収入などをもって独立採算を基本に運営され、企業としての経済性の発揮が求められています。

水の恵みを未来へつなぐ

長野県企業局では、SDGs(持続可能な開発目標)も踏まえ、
経営戦略に基づき事業を推進しています。

基本目標

『水の恵みを未来へつなぐ』

「激動する新たな時代に向けて、志高く果敢に挑戦することで、
美しい長野県の豊かな水の恵みを未来へつなげていきたい」という思いを込めています。

基本方針

『経営の安定と未来への投資』

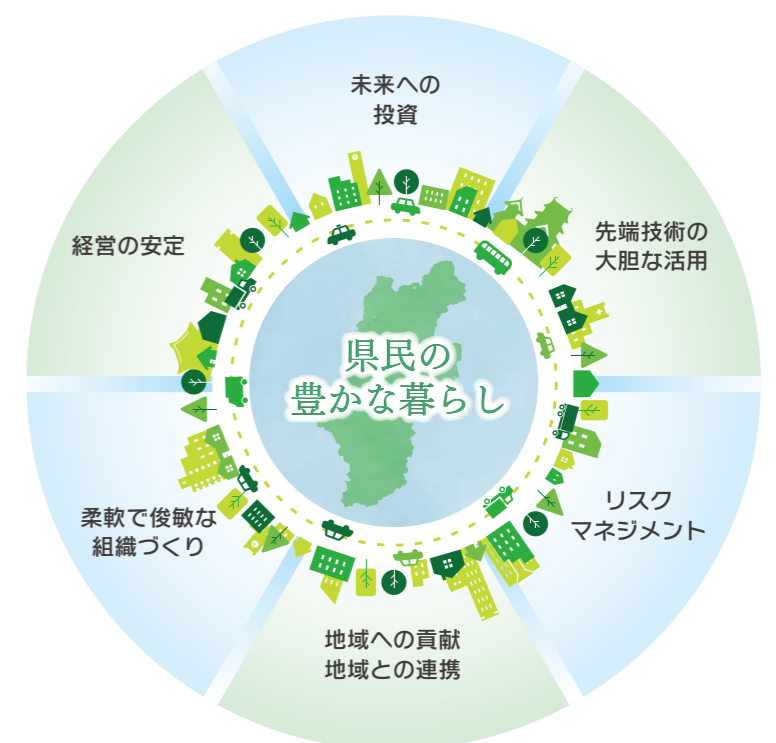
電気事業

脱炭素社会に向け、長野県の豊かな水資源を活かす水力発電により「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図るとともに、電力安定供給のため、未来に向けて積極的に投資

水道事業

将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域連携の強化

基本目標の達成のため、
6つの視点
に基づき事業を
展開しています。



長野県企業局の これまでとこれから

長野県企業局は、1961(昭和36)年4月に電気事業、住宅事業、用地開発事業の3事業でスタートしました。その後、時代の要請や地域の要望を受け、有料道路事業、観光施設事業、水道事業、ガス事業の最大7事業を経営し、地域の発展に大きく寄与してきました。これからも私たちは、新たな時代に向け、志高く果敢に挑戦し、長野県の豊かな水の恵みを未来へとつなげてまいります。

1961 長野県企業局設置

- 電気事業 1961(昭和36)年～(1958～1961長野県電気部)
- 水道事業 1963(昭和38)年～
- 住宅事業 1961(昭和36)年～1969(昭和44)年
- 用地開発事業 1961(昭和36)年～1981(昭和55)年
- 有料道路事業 1961(昭和36)年～2002(平成14)年
- 観光施設事業 1962(昭和37)年～2008(平成20)年
- ガス事業 1963(昭和38)年～2005(平成17)年

1962 末端給水事業経営認可(1964 給水開始)

千曲川の表流水を水源に、千曲川沿岸地域への供給を開始



上田水道管理事務所と諏訪形浄水場(上田市)

2011 東日本大震災

1958 美和・春近発電所 運転開始 (長野県電気部設置)

三峰川総合開発に伴い県営初となる美和発電所が運転開始



美和ダムと美和発電所(伊那市)

1973 用水供給事業経営認可(1982 供給開始)

奈良井ダムを水源に、松本市と塩尻市に用水供給を開始



松塩水道用水管理事務所と本山浄水場(塩尻市)

2012 電気事業の経営継続を決定

東日本大震災を契機とした再生可能エネルギー普及拡大の期待を受け、それまでの民営化方針を転換し、電気事業の経営継続を決定しました。

FIT(固定価格買取制度)を活用し、発電所の建設を再開

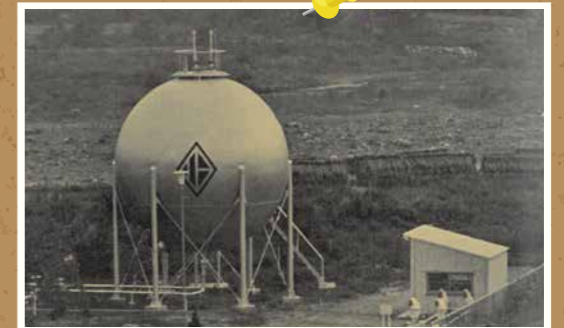


横川蛇石発電所(辰野町)

\\こんな事業もやっていました\\



多くの人々に信州の豊かな自然に親しんでもらうとともに、観光地の発展のためビーナスラインなどの有料道路を建設・運営してきました。



新潟～東京間の天然ガスパイプラインの通過を契機とした地域からのガス事業実施の要請を受け、全国初の県営ガス事業を発足し、経営してきました。

2020 水道事業広域連携推進協議会設置

持続可能な水道事業経営に向け、県内市町村とともに広域化・広域連携の検討を開始

2021 中央制御所開所

AI・IoT等の先端技術を活用し、スマート保安等を推進

経営戦略の 達成に向け、 果敢に挑戦

ゼロカーボンの具現化、将来にわたる安全・安心な水の供給に向けて、企業局は一丸となって取り組みます。



事業の進捗や課題に俊敏に対応するための職員の柔軟な配置や先端技術の積極的な導入による「しごと改革」、職員のワークライフバランスを実現する「働き方改革」にも取り組んでいます。



1. 敷地を一般に開放するなど、大規模改修で地域に開かれた施設となった西天竜発電所(伊那市)
2. 菅平発電所(上田市)の水圧鉄管路をモノレールで巡視する職員
3. 森泉湯川発電所(御代田町)の現場見学会で水車を見学する子供
4. 裾花発電所(長野市)の大規模改修工事
5. 先端技術を活用して維持管理を行う中央制御所(長野市)

電気事業



全国有数の豊富な水資源を活用した水力発電により、地球にやさしいクリーンエネルギーの確保に努めています。

Message

電気事業課
大日方 勇太

【電気事業概要】

発電所数(建設中を除く) 23か所 <small>※令和6年4月1日時点</small>	最大出力合計 104,655 kW <small>最大出力は全国9番目(地方公営企業中)</small>
年間販売電力量 <small>(令和6年度計画値)</small> 2.7億kWh <small>年間発電電力量は一般家庭約7.5万戸相当</small>	料金収入 <small>(令和6年度計画値)</small> 38.2億円
管理ダム 3か所	

長野県の電気事業は、1958(昭和33)年に美和発電所(伊那市)の運転開始に合わせてスタートしました。それから60年余りが経過した現在、県内で23か所の発電所(合計最大出力約104千kW)と3つのダムを管理し、年間約2.7億kWhの電気を発電しています。これは、一般家庭で使用する年間電力量の約7.5万戸に相当します。

売電による利益は、新たな発電所の建設だけでなく、県立学校へのタブレット端末導入等、未来を担う子供たちへの支援にも活用するなど地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

発電時に二酸化炭素を排出しない水力発電は、脱炭素社会の実現に欠かせないものであり、新たな発電

所の建設や老朽化した発電所のリニューアルを推進することで、再生可能エネルギーの普及拡大に努めています。

新しい発電所の建設や既存発電所の大規模改修にあたっては、未永く地域の皆様に親しんでもらえるよう、計画段階から地域の方に参画いただき、「地域連携型水力発電所」としての取組を進めています。

発電所の運転管理や維持管理では、AI・IoT等の先端技術を積極的に活用することで、施設の集中監視制御や効率的な運転による発電量の最適化等にも取り組んでいます。

私たちはこうした電気事業の取組を通じ、水の恵みを未来へとつなげていきます。

再生可能エネルギーの供給拡大



ゲート改修工事中の高遠ダム（伊那市）

2050ゼロカーボンの実現に向け再生可能エネルギーの供給を拡大するため、FIT制度（固定価格買取制度）等を最大限活用し、新規発電所の建設や既存発電所の大規模改修等による出力増強を計画的に進めています。
また、これまで企業局が培ってきたノウハウを活かし、市町村や土地改良区の電源開発を調査から建設・管理まで支援するなど、更なる再生可能エネルギーの供給拡大に取り組んでいます。



市町村等の開発を支援（候補地点での流量観測）



新規建設工事中の湯の瀬とおしき発電所（長野市）

新規電源開発の推進

長野県は、高低差のある地形が生み出す豊富な水資源があり、水力発電のポテンシャルが非常に高い地域であるため、新たな地点での電源開発に積極的に取り組んでいます。

2025（令和7）年度までに発電所数を36か所（建設着手を含む）とすることを目標に発電所の建設を推進しています。

越百のしずく発電所建設工事（2025（令和7）年運転開始予定）



完成予想図



取水口建設工事

2022（令和4）年に与田切発電所（飯島町）の上流で越百のしずく発電所の建設に着手しました。
与田切発電所は、与田切川から取水していますが、支流のオンボロ沢の影響で濁水・土石流の発生が多く、発電施設保護のため運転を停止することが多い発電所でした。越百のしずく発電所では、新たに濁水の発生が少ない与田切川上流から取水し、その放流水を与田切発電所に導水することで、両発電所が継続かつ安定的な発電を行えるようになります。

2050ゼロカーボン実現に向けて

未来を見据えた 電気事業の取組

生まれ変わる発電所

発電出力の増強や運転効率の向上、設備の強靱化を図るため、老朽化した既存発電所の大規模改修を進めています。
大規模改修にあわせて、保安の高度化・効率化を図るために、先端技術を活用した「スマート保安」の取組も進めています。

春近発電所大規模改修工事（2025（令和7）年運転開始予定）



水車据付工事



鉄管分岐部の工事

企業局の発電所で最大出力を誇る春近発電所（伊那市）では、運転開始から64年を迎えた2022（令和4）年に大規模改修工事に着手しました。
従来よりも高効率な水車を採用し、発電出力・発電電力量の増加を見込むほか、新たにドローンを導入し維持管理の高度化・効率化を図ります。

安定的な電源供給を目指して

災害時の電源確保

全国各地で発生している大規模災害を教訓に、発電所への自立運転機能の付加等を進めています。停電時にも発電所内の電源を確保し、発電所屋外に設置された非常用コンセントやEV急速充電器から電源を確保することが可能です。

また、発電所の敷地を災害時の拠点として活用できるよう、敷地内に広場や交流施設を整備するなどの取組を進めています。
さらに、地域連携水力発電マイクログリッド（大規模停電時に地域の防災拠点等に電力を直接供給する仕組み）の構築に向けて、送配電事業者、市町村等との協議、研究を進めています。



停電時でも自立運転が可能となった西天竜発電所（伊那市）



西天竜発電所に整備されたEV急速充電器

施設の適切な維持管理

安定的に電気を供給するためには、発電所やダム の適切かつ効率的な管理が欠かせません。日夜、施設の維持管理を実施するとともに、水資源を最大限有効に活用するため、発電所の形式や天候等を踏まえ、最適な運転に努めています。



中央制御所での監視制御



発電所監査廊点検

中央制御所(長野市)では、発電所の運転や発電水量の調整等を先端技術を活用して効率的に行っています。また、発電施設には、水車や発電機のほか、河川から水を取り入れる取水口や発電所まで水を引き込む導水路等、様々な施設があり、巡視・点検や修繕を行うて電気が安定的に供給できるよう、適切な維持管理に努めています。

次世代の監視制御・エネルギーの活用に挑戦

AIやIoT等の先端技術を積極的に活用し、複数の発電所を一括して監視制御する「スマート保安」の推進や流入量予測による発電量最適化、機器等の故障予兆の把握等により、限られた人材で効率的な業務を行うとともに、職員の技術力向上を図っています。また、企業局の水力発電所で発電した電気と川中島の水(地下水)を用いた、100%再生可能エネルギー由来の水素ステーションを整備し、水素生成と利活用を通じた再生可能エネルギーの安定供給について実証実験を進めています。



先端技術を活用し業務を行う中央制御所(長野市)



川中島水素ステーションと燃料電池自動車(長野市)

新技術で未来を拓く

未来を見据えた電気事業の取組

これからも地域とともに

地域と連携した発電所づくり

近年新たに建設した発電所は、「地域連携型水力発電所」として建設計画段階から発電所周辺地域の皆様に参画いただき、地域の観光資源や学習の場として活用するとともに、近隣河川での魚の放流や発電所周辺の維持管理等に地域の皆様と協働で取り組んでいます。



地域に開放された西天でんでん広場(西天発電所)



与田切川再開業を記念したあまご放流

2023(令和5)年にしゅん工した西天発電所(伊那市)は、発電所を地下式にすることで生まれた敷地を活用し、地域の皆様の学びや交流の場として活用できる交流センターや芝生エリア・遊具等を設けた「西天でんでん広場」を整備しました。停電時にも電気が使えるため、防災拠点としての役割も担います。

電力の地消地産、地域への貢献

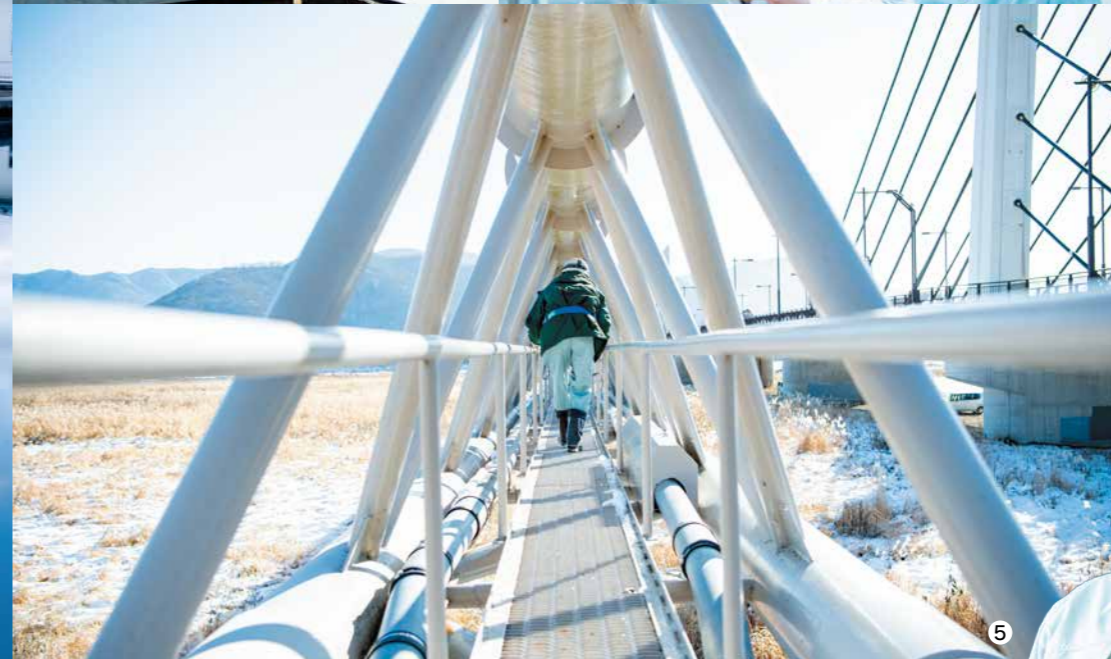
水力発電の低炭素価値や信州産電力の付加価値を活かし、企業局電力のブランド価値を高めるとともに、企業局や中部電力(株)が県内で水力発電した電気を県内企業が購入し、購入費用の一部を電源開発に充てるプロジェクトを官民連携で進めています。また、県庁舎の使用電力に企業局電力を活用する等の取組を通じて電力の地消地産を進めています。電気事業の利益の一部は未来を担う子供たちへの支援に活用する等、積極的に地域貢献に取り組んでいます。



官民連携で再生可能エネルギーの普及拡大と電力の地消地産を進める「信州Green電源拡大プロジェクト」



電気事業の利益を活用し整備された園庭の芝生で遊ぶ園児たち(聖マルチン幼稚園 駒ヶ根市)



1. 本山浄水場(塩尻市)の沈殿池
2. 諏訪形浄水場(上田市)高速沈殿池での採水作業
3. 諏訪形浄水場で水質分析をする職員
4. 小学生の諏訪形浄水場施設見学
5. 千曲川水管橋(千曲市)の点検



水道事業



お客様に直接水道水を供給する末端給水事業(長野・上田地域)と市町村などの水道事業者から水道用水を供給する用水供給事業(松本地域)を経営しています。

【水道事業概要】

(令和6年度計画値)

末端給水事業		
給水戸数 80,948戸 <small>3市1町(長野市、上田市、千曲市、坂城町)</small>	年間有収水量 1,899万m³	料金収入 36.2億円
用水供給事業		
年間供給量 2市1村 <small>(松本市、塩尻市、山形村)</small>	年間供給量 2,957万m³ <small>2市1村(松本市、塩尻市、山形村)</small>	供給料金収入 14.4億円

Message

水道事業課
寺島 一樹

長野県の水道事業は、1964(昭和39)年に千曲川の表流水を水源とした末端給水を開始し、その後、1982(昭和57)年に奈良井ダムを水源とした用水供給を開始しました。

現在、末端給水事業では、千曲川沿岸の3市1町(長野市、上田市、千曲市、坂城町)の約8万戸を対象に、年間1,899万m³を供給しています。

用水供給事業では、2市1村(松本市、塩尻市、山形村)に対して年間2,957万m³を供給しています。

末端給水事業を都道府県が行うことは全国的にも稀であり、末端給水と用水供給の二つを行っている都道府県は全国で長野県だけです。

お客様に安全・安心な水道水をお届けすることを使命に、老朽化した施設や設備等を計画的に更新するとともに、大規模地震に備えて浄水場等の基幹施設や送水管等の基幹管路の耐震化を進めています。

水道事業は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設・設備の老朽化等により、全国的に将来の経営環境の悪化が懸念されています。

安全・安心な水道水を安定的に供給する持続可能な水道事業経営の体制づくりに向け、関係市町村等との広域連携の取組を進めています。

私たちはこうした水道事業の取組を通じ、水の恵みを未来へとつなげていきます。

水の恵みを届ける 水道事業の取組

末端給水事業

小規模水道の統合、老朽施設の更新への対応や公衆衛生の向上等を図るため、広域的な上水道の整備について地元からの要望を受け、1964(昭和39)年に給水を開始しました。末端給水事業では、給水地区の各家庭等の蛇口まで水を届けています。

水道管の維持管理

漏水調査

漏水が発生すると、水圧低下や道路陥没など、お客様の生活に悪影響を及ぼします。定期的な漏水調査を行うことで、漏水の早期発見、重大な被害抑制ができるよう努めています。



音聴棒による漏水調査

漏水修理

水道管は経年劣化等の様々な要因で漏水が発生することがあります。漏水による道路陥没や周辺世帯の濁水等の被害を防ぐため、速やかな漏水修理を実施しています。



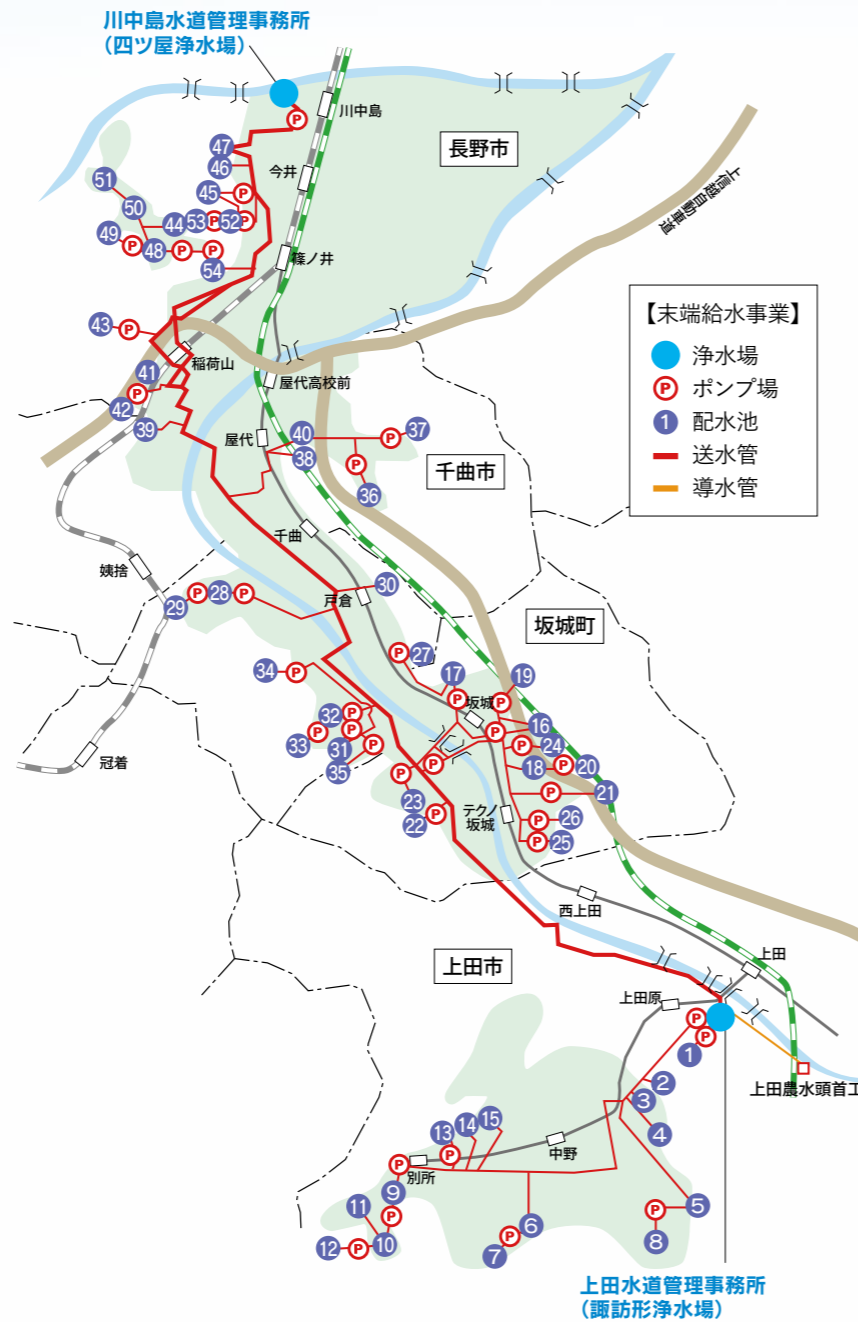
破損した管路の修繕工事

定期点検

お客様に安全・安心な水道水を安定供給するため、水道管や水管橋等を定期点検しており、有事の際に速やかに対応できるよう管理しています。



千曲川水管橋の定期点検



【配水池】			
上田市	12 新田	23 村上	34 城腰
1 諏訪形	13 八木沢	24 御所沢	35 新山
2 原峠	14 八木沢第2	25 鼠(休止)	36 森
3 下之郷	15 舞田	26 新地(休止)	37 倉科
4 リサーチパーク	16 坂城第1	27 磯部	38 更埴第1
5 林間工業団地	17 坂城第2	28 更級第1	39 稲荷山
6 東前山第1	18 中之条	29 更級第2	40 更埴(調整池)
7 東前山第2	19 南日名	30 戸倉	長野市
8 奈良尾	20 葛尾	31 上山田	41 長谷第1
9 別所	21 入横尾	32 漆原第1	42 長谷第2
10 野倉	22 網掛	33 漆原第2	43 四野宮
11 岳ノ尾			44 柳沢
			45 新田
			46 共和
			47 小松原
			48 犬石
			49 十二
			50 青池
			51 若林
			52 茶臼山第1
			53 茶臼山第2
			54 篠ノ井(調整池)

都市化に伴う人口増加による水不足の解消や生活水準の向上による水需要の増加に対応するため、地元からの要望を受け、1982(昭和57)年から松本市・塩尻市に、2009(平成21)年から山形村に用水供給を開始しました。

用水供給事業

浄水場の維持管理

運転管理

浄水場の処理工程や配水池等の水位データ等を常時監視し、水量・水質・薬品注入を適切に管理しています。設備に異常が生じた時は、警報で知らせ、迅速に対応しています。



浄水場の監視・運転管理

定期点検

送水ポンプなど浄水場の運営に必要な不可欠な設備を適切に管理しており、定期点検の際に異常があれば速やかに修繕を実施し、設備の健全化に努めています。



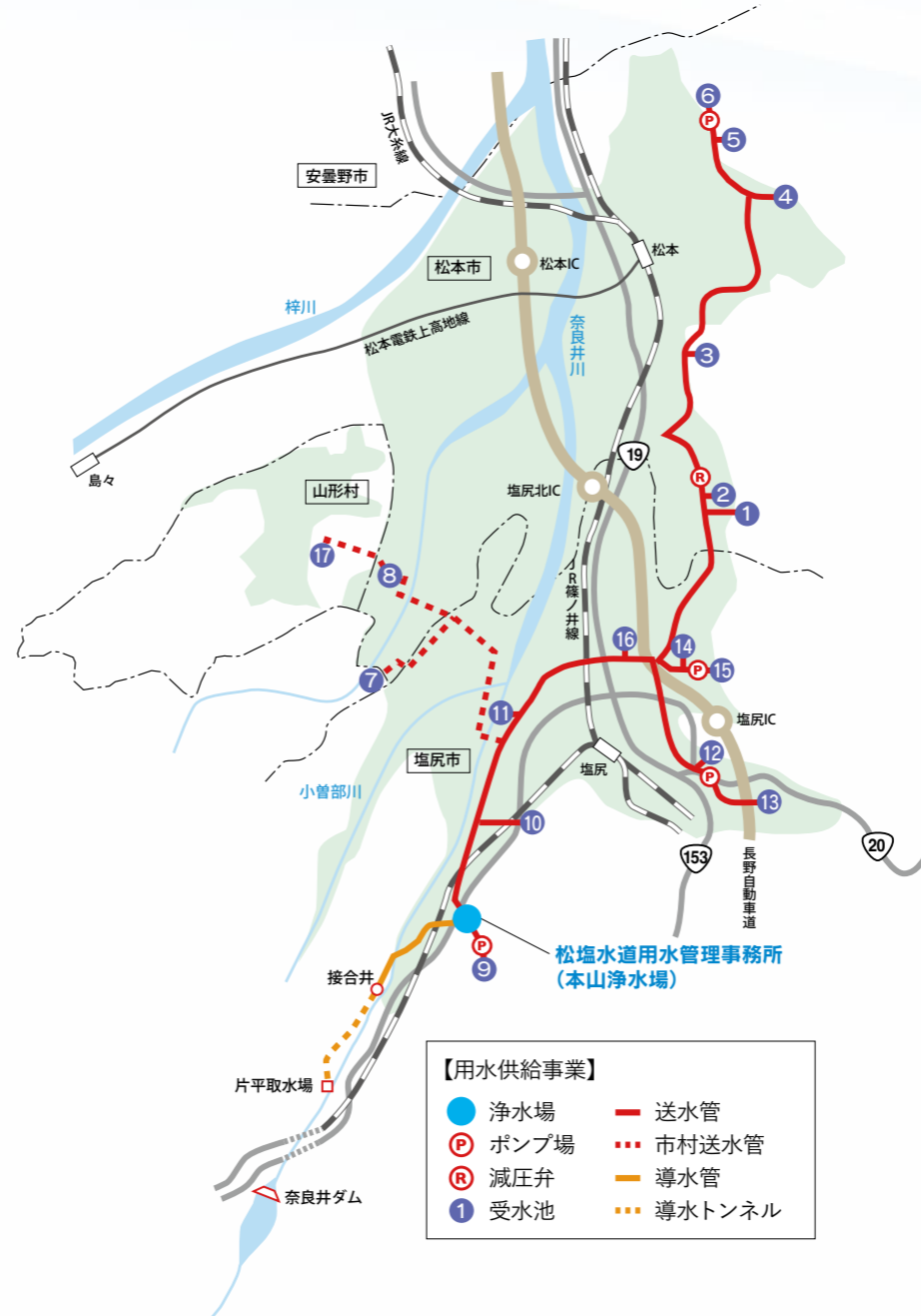
小松原送水ポンプの定期点検

水質管理

水質監視や水質検査等により、浄水工程における水質を常時チェックしています。原水の水質の変化に応じて薬品量等をコントロールして適切な水質管理に努めています。



水質分析



【受水池】		
松本市	7 今井第1	13 柿沢
1 松原	8 今井第2	14 片丘
2 寿	塩尻市	15 片丘第2
3 並柳	9 本山	16 野村
4 藤井	10 床尾	山形村
5 妙義	11 郷原	17 横出ヶ崎
6 茶臼山	12 小坂田	

老朽化対策・耐震化

事業開始時や拡張時に集中して整備した水道施設や設備は、更新が必要となる時期も集中するため、アセットマネジメント(長期的収支予測に基づく資産管理)の手法を取り入れ、将来にわたってお客様に安全・安心な水を安定的にお届けできるよう、施設・設備の計画的な更新を図っています。
また、近年頻発する大規模地震を踏まえ、浄水場や送水管などの基幹施設・管路等を優先して耐震化しています。



新しい浄水池への送水管分岐工事(諏訪形浄水場)



送水管敷設工事(長野市塩崎地区)

安全・安心な水の安定的な供給を目指して

ハードとソフト、両面からの防災対策

頻発する豪雨等の災害に備え、浄水場など基幹施設の浸水対策や、災害時でも飲料水や生活水を確保できる応急給水拠点「安心の蛇口」を避難所となる学校等に整備しています。
また、地元市町村との災害時連携協定に基づく情報共有体制等の強化や合同防災訓練の実施等、ハード・ソフト両面から防災対策に取り組んでいます。

●安心の蛇口

災害時でも飲料水や生活水を確保することを目的とした応急給水拠点です。災害時には、複数の蛇口を備えた組立式の非常用給水装置を「安心の蛇口」に接続して、給水することができます。



安心の蛇口(長野市三本柳中央公園)



安心の蛇口を活用した防災訓練



令和元年東日本台風翌日の取水口除塵作業(上田農水頭首工)



給水車による応急給水訓練

水の恵みを届ける 水道事業の取組

水道事業の広域化・広域連携

本格的な人口減少による水需要の減少、老朽化する施設・管路の更新、水道事業に携わる専門人材の確保・育成などの課題に対応するため、関係市町村と連携し、持続可能な経営基盤の確立に向けた広域化・広域連携の推進や、将来の地域にふさわしい水道事業のあり方について、検討しています。

●上田長野地域での取組

末端給水エリア(長野市、上田市、千曲市及び坂城町)では、関係市町及び企業局で「上田長野地域水道事業広域化研究会」を設置し、水道事業の広域化について検討を進めています。
また、関係市町と連携を図り、地域住民の皆様や将来世代を見据えた子育て世代への説明会、シンポジウムの開催などを通じ、持続可能な水道事業経営の理解促進と機運醸成を図っています。



上田長野地域水道事業広域化研究会の開催

持続可能な経営体制の構築に向けて



住民説明会の開催



「水道の未来を考えるシンポジウム」を開催



子育て世代に対して『水道の将来』について説明



県内市町村等水道職員の技術向上を目的に研修会を開催

長野県企業局概況図 (2024(令和6)年4月1日現在)



篠ノ井調整池
(川中島水道管理事務所管内)



諏訪形浄水場沈殿池
(上田水道管理事務所管内)

凡例 ● 発電所 ▲ ダム ■ 企業局機関



企業局本庁



本山浄水場着水井
(松塩水道用水管理事務所管内)



菅平発電所
(北信発電管理事務所管内)



くだものの里まつかわ発電所
(南信発電管理事務所管内)

浄水場一覧

施設名	所在地	施設能力	水源	ろ過方式
諏訪形浄水場	上田市諏訪形	48,000m ³ /日	千曲川表流水	急速ろ過方式
四ツ屋浄水場	長野市川中島町四ツ屋	52,000m ³ /日	浅井戸	滅菌処理方式
本山浄水場	塩尻市本山	86,400m ³ /日	奈良井川表流水	急速ろ過方式

発電所一覧

発電所名 ^{※1}	所在地	形式	運転開始	最大出力 (kW)	年間発電電力量 ^{※2} (千kWh)	最大使用水量 (m ³ /s)	最大有効落差 (m)	水車形式	備考
① 美和	伊那市(高遠町)	ダム式	令7.4.1予定(昭33.2.1)	13,000(12,200)	47,500(43,807)	25.60	58.91(58.85)	立軸フランシス(2台)	改修工事中
② 春近	伊那市	ダム水路式	令7.4.1予定(昭33.7.14)	25,300(23,600)	108,000(103,824)	19.00	151.37(151.80)	立軸フランシス(2台)	改修工事中
③ 西天竜	伊那市	水路式	令4.2.1(昭36.12.1)	3,200(3,600)	18,100(11,500)	5.56(6.86)	63.95(65.22)	横軸フランシス(2台)	
④ 四徳	上伊那郡中川村	水路式	昭39.2.7	1,800	5,382	1.37	165.00	横軸フランシス	
⑤ 小波第1	下伊那郡松川町	ダム式	昭44.3.1	3,000	9,697	8.00	46.10	立軸カプラン	
⑥ 小波第2	下伊那郡松川町	ダム水路式	平31.1.14(昭44.3.1)	7,000(6,500)	30,580(24,842)	8.00	99.90	立軸フランシス	
⑦ 小波第3	下伊那郡松川町	ダム式	令6.6.1予定(平12.4.1)	550(550)	2,670(2,620)	0.88	83.05(83.41)	横軸単輪二射ターゴインバルス	改修工事中
⑧ 与田切	上伊那郡飯島町	水路式	令6.6.1予定(昭61.4.1)	6,400(6,300)	26,300(23,763)	2.40(2.40)	321.79(321.32)	横軸単輪二射ベルトン	改修工事中
⑨ 大鹿	下伊那郡大鹿村	水路式	平2.5.1	10,000	43,998	4.50	266.40	立軸単輪四射ベルトン	
⑩ 大鹿第2	下伊那郡大鹿村	水路式	平11.4.1	5,000	21,913	1.70	356.22	横軸単輪二射ベルトン	
⑪ 奥木曾	木曾郡木祖村	ダム式	平30.2.20(平6.6.1)	5,050(4,800)	20,758(18,903)	4.70	125.12	横軸二輪両掛フランシス	
⑫ 高遠さくら(高遠)	伊那市(高遠町)	ダム式	平29.4.1	199	1,498	1.10	23.20	横軸フランシス	
⑬ 横川蛇石	上伊那郡辰野町	ダム式	令2.4.1	199	1,512	1.40	17.89	横軸フランシス	
⑭ 信州もみじ湖	上伊那郡箕輪町	ダム式	令3.6.1	199	1,100	0.47	52.00	横軸フランシス	
⑮ くだもの里まつかわ	下伊那郡松川町	ダム式	令3.4.1	380	2,100	1.23	40.30	横軸フランシス	
⑯ 小波えんまん	下伊那郡松川町	ダム水路式	令3.4.1	199	1,160	0.29	93.00	横軸フランシス	
⑰ 奈良井	塩尻市	ダム式	昭59.4.1	830	5,100	2.50	41.80	横軸フランシス	
⑱ 松川ダム	飯田市	ダム式	昭61.5.1	1,200	3,200	2.50	60.10	横軸フランシス	
⑲ 越百のしずく	上伊那郡飯島町	水路式	令7.4.1予定	1,500	5,300	1.80	106.97	横軸単輪二射ターゴインバルス	建設中 予定値
⑳ 大泉川砂防ダム地点	上伊那郡南箕輪村	水路式(砂防堰堤活用)	令8.8.1予定	120	600	0.56	30.20	(未定)	設計中 予定値
㉑ 中田切川地点	駒ヶ根市	水路式(砂防堰堤活用)	令9.8.1予定	1,999	12,689	1.30	191.00	横軸ベルトン	建設中 予定値
㉒ 菅平	上田市(真田町)	ダム水路式	昭43.12.1	5,400	18,145	2.40	276.05	立軸フランシス	
㉓ 裾花	長野市	ダム式	令4.2.3(昭44.5.15)	15,500(14,600)	55,248(46,816)	18.00	98.35	立軸フランシス	
㉔ きなさ(奥裾花)	長野市(鬼無里村)	ダム式	昭54.2.1	1,700	4,031	4.00	53.68	横軸フランシス	
㉕ 水芭蕉(奥裾花第2)	長野市	ダム式	平29.4.1	999	5,745	2.53	48.17	横軸フランシス	
㉖ 豊丘ダム	須坂市	ダム式	令7.4.1予定(平6.5.1)	178(150)	1,123(817)	0.40(0.40)	56.4(54.90)	横軸クロスフロー	改修工事中
㉗ 金峰山川	南佐久郡川上村	水路式(砂防堰堤活用)	令6.6.1予定	145	950	1.10	16.30	S型チューブラ	建設中 予定値
㉘ 森泉湯川	北佐久郡御代田町	ダム式	令6.6.1予定	151	672	0.73	26.40	横軸フランシス	建設中 予定値
㉙ 湯の瀬いとおしき	長野市	ダム式	令8.3.1予定	860	3,000	8.60	12.15	S型チューブラ	建設中 予定値
計(建設中除く)				104,655	424,474				

※1 愛称のある発電所は「愛称(正式名称)」で表記しています。 ※2 2023年の発電電力量です。天候や改修工事などにより変動します。
※改修工事を行った発電所は()内に改修前の諸元を記載しています。(予定を含む)

ダム一覧

ダム名	所在地	形式	竣工	堤高 (m)	堤頂長 (m)	堤体積 (千m ³)	総貯水容量 (千m ³)	有効貯水容量 (m ³)	用途	関連事業	
南信発電管理事務所管内	高遠	伊那市(高遠町)	コンクリート重量式	昭33	30.9	76.1	21.97	2,310	500	かんがい発電	三峰川総合開発事業(かんがい・発電)
北信発電管理事務所管内	菅平	上田市(真田町)	コンクリート重量式	昭43	41.8	149.7	79.00	3,451	3,242	かんがい・上水道・発電	神川総合開発事業(かんがい・上水道・発電)
	湯の瀬	長野市	コンクリート重量式	昭44	18.0	140.0	15.00	330	290	上水道・発電	裾花川総合開発事業(上水道・発電)



Nagano(長野県)、Nature(自然の恵み)、Next(次世代)
それぞれの「N」と企業局の電気・水道事業が一体となることで、県民が躍動する姿を表現しています。
緑色はクリーン電力、青色は安全・安心な水、オレンジ色は明るい未来をイメージ。
同時に、信州の雄大な山々と豊かな水源、昇る太陽を表しています。

企業局PRキャラクター みずもち 水望メグ

長野県企業局のさらなる認知度向上と、特に若者世代への効果的な情報発信を目的に、2022(令和4)年4月1日に企業局のPRキャラクターに就任しました。「水望メグ」という名前には、水の恵みで「未来を望む」という思いが込められています。

身長：166cm
出身：長野県
好きな食べ物：ふりかけご飯、ダムカレー
好きな飲み物：水道水
趣味：スポーツ観戦、ダム巡り



YouTubeで動画配信中！

企業局（本庁）

長野市大字南長野字幅下 692-2(長野県庁 7階)
TEL 026-235-7371 FAX 026-235-7388

中央制御所

長野市川中島町四ツ屋 100
TEL 026-214-0300 FAX 026-283-7614

南信発電管理事務所

伊那市狐島 3802-2
TEL 0265-72-6121 FAX 0265-78-8050

飯田発電建設事務所

飯田市座光寺 3349-1(エスパード内)
TEL 0265-49-4110 FAX 0265-49-4112

松本発電建設事務所

松本市空港東 8909(松本空港ターミナルビル内)
TEL 0263-87-8210 FAX 0263-87-8260

高遠ダム管理所

伊那市高遠町東高遠花畑 466
TEL 0265-94-2210 FAX 0265-94-2167

北信発電管理事務所

長野市川中島町四ツ屋 100
TEL 026-283-7041 FAX 026-283-7614

上田発電建設事務所

上田市天神 1-8-1 上田駅前ビルパレオ
TEL 0268-71-0791 FAX 0268-71-0792

菅平ダム管理所

上田市菅平高原 1278
TEL 0268-74-2177 FAX 0268-74-2713

上田水道管理事務所

上田市諏訪形 613
TEL 0268-22-2110 FAX 0268-22-2994

川中島水道管理事務所

長野市川中島町四ツ屋 100
TEL 026-284-1700 FAX 026-284-1702

松塩水道用水管理事務所

塩尻市大字宗賀字本山 5225-1
TEL 0263-52-3330 FAX 0263-52-3331

長野県企業局ホームページ ▶▶▶



ブランドサイト ▶▶▶

動画などを通じてより詳細に
企業局について紹介しています

